

池田市民記者が行く!

市民が池田市の魅力をレポートする
“市民記者”として、地元・池田の
情報を発信します。

今月の市民記者
安田 清さん



広報誌で池田を伝えて8年目。外国人に日本語を教える「池田日本語ボランティア友の会」のほか「ほそごう地域コミュニティ推進協議会(伏尾台地区)」など、市内で幅広く活躍中。

取材先 大内田塗装工業(株)



インドネシアから来た技能実習生が 元気に働いています

一定の能力を持つ外国人労働者の受け入れを拡大する法律が昨年12月に国会で成立しました。4月から始まる新たな受け入れ制度で、増加することが予想されるのは、日本で技能を習得して、母国でそれを活用する目的の外国人技能実習生で

す。現在池田市在住の外国人は1900人弱、そのうち技能実習生は約150人と聞いています。桃園の大内田塗装工業(株)の大内田昭次社長に伺いました。同社は主に自動車部材の高防錆のための力チオン電着塗装などを行っています。約20年前から外国人技能実習生を採用してきて、累積で39人になっています。現在は20歳前後の8人が働いています(写真はその8人と社長)。公益財団法人国際人材育成機構 アイム・ジャパンを通じて、ずっとインドネシア人を採用してきました。来日後1カ月は日本語研修を受け、会社ではインド

ネシア人先輩などの指導を受け、業務に真剣に励んでいます。遅刻や休みがなく、始業の20分前には会社に来てという真面目さは、先輩から引き継がれているようです。住まいは、現在は会社から非常に近い所にある社員寮で、個室に住んでいます。食事は、自転車で大量販売のスーパー(イラム教に従って処理された「ハラール」の鶏肉も販売)で購入、寮に設置されている大型の冷凍冷蔵庫に各自が保存し、料理も各自が自分の好みで多量のスパイスを入れて作っています。イスラム教に従って、酒・煙草はたしなまない物静かな青年たち

です。仕事はほぼ定時に終了し、土・日曜日は休みです。週に1回、池田日本語ボランティア友の会でマンツーマンで日本語の学習をして、日常会話の能力向上と、日本語能力試験受験のために励んでいます。春・夏・冬の連休には、富士山・東京秋葉原・冬スキーなどを楽しんでいるということです。このような技能実習生が、人手不足の日本の産業・商業を支えてくれるのはうれしいことですね。

ネシア人先輩などの指導を受け、業務に真剣に励んでいます。遅刻や休みがなく、始業の20分前には会社に来てという真面目さは、先輩から引き継がれているようです。住まいは、現在は会社から非常に近い所にある社員寮で、個室に住んでいます。食事は、自転車で大量販売のスーパー(イラム教に従って処理された「ハラール」の鶏肉も販売)で購入、寮に設置されている大型の冷凍冷蔵庫に各自が保存し、料理も各自が自分の好みで多量のスパイスを入れて作っています。イスラム教に従って、酒・煙草はたしなまない物静かな青年たち

ネシア人先輩などの指導を受け、業務に真剣に励んでいます。遅刻や休みがなく、始業の20分前には会社に来てという真面目さは、先輩から引き継がれているようです。住まいは、現在は会社から非常に近い所にある社員寮で、個室に住んでいます。食事は、自転車で大量販売のスーパー(イラム教に従って処理された「ハラール」の鶏肉も販売)で購入、寮に設置されている大型の冷凍冷蔵庫に各自が保存し、料理も各自が自分の好みで多量のスパイスを入れて作っています。イスラム教に従って、酒・煙草はたしなまない物静かな青年たち

です。仕事はほぼ定時に終了し、土・日曜日は休みです。週に1回、池田日本語ボランティア友の会でマンツーマンで日本語の学習をして、日常会話の能力向上と、日本語能力試験受験のために励んでいます。春・夏・冬の連休には、富士山・東京秋葉原・冬スキーなどを楽しんでいるということです。このような技能実習生が、人手不足の日本の産業・商業を支えてくれるのはうれしいことですね。

お問い合わせ

連絡先
大内田塗装工業(株)
☎751・4220